

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	タクシー運転手	来客数の動き	・客からは前年に比較してボーナスが多かったという話を聞く。忘年会も前年より多く開催され、タクシーの売上も上がった。2、3年前と比較して入出が多く、活気が感じられた。
	やや良く なっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・一部の客で、前年よりも注文量が増加した。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ファッション関連では、今まではどちらかというところの着回しの利くカジュアル志向が強かったが、新年のトレンドを受けたエレガンス志向のファクターが生まれてきたため、多少は動きが良くなっている。家庭用品、食品関係では産地などへのこだわり商品が上向きになってきた。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・DVDの売上が前年同月比で倍増となった。パソコン、カラーテレビに次いで商品別売上の3位を占めた。今後、単価の低下は予測されるが、当分はAV商品のリード役となる。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・例年より昼の来客数が大幅に減少したが、夜の客が大幅に増加したため、トータルで売上は増加している。忘年会の受注が好調であったことが要因である。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・年配層の来客数が減少した。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・来客数が増えているにもかかわらず、一品単価が低下しているため、売上は前年を割っている。買上点数は変わっていない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・客の購買意欲は高まっている。高額品、例えば20万円クラスのカシミア商品は前年より良い。しかし、3～4万円のボリュームゾーンは客数、点数ともに非常に落ち込んでいる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・12月に入って歳暮、クリスマス、年末のイベントが続いたが、この中で特に歳暮の動きが例年より悪かった。また、食品スーパーでは元日から営業を開始する店や営業時間を拡大する店が多くなり、客は年末にもかかわらず慌てて買物をしなくなった。そのため、来客数は増えても客単価が悪く、売上は伸び悩んだ。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・たばこや年賀状の動きは良かったが、それ以外の商品の売上は悪かった。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・前年に比べて暖かかったため、お弁当や肉まんなど本来売れるべき商品が売れなかった。しかし、その他の商品が良かったため、全体的に売上は増加している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暖冬のため、重衣料が動かず、インナーの薄いセーターやブラウスがよく動いている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・例年12月は年間で最も活気が感じられる月であるが、今年の客はたんたんとした買物に終始し、勢いが感じられない。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数はほぼ前年並みであるが、単価がなかなか上がらない。
乗用車販売店（経営者）		競争相手の様子	・ライバル会社では、競合した場合に過剰な値引き合戦を仕掛けてくるが、それでも販売量は伸びていない。	
乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新型車の販売は堅調な動きであるが、1年後にモデルチェンジを控えている従来型車種は前年を下回っている。		
乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・業界では従来底固い動きをみせていた小型車の販売に陰りが出ている。当社は新型車発売の影響で、受注ベースで堅調である。		
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・歳暮時期で忙しかったが、前年同月に比べて売上は悪くなっている。酒や食品などでは高くてもおいしい物がよく売れており、景気が良くなる前兆のようにも感じられる。		

	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・来客数は増えつつあるが、相変わらず客単価が低迷している。 ・深夜帯での若年層の来客数が増加している。BSE問題以来、若い客層が牛丼店から若干流れてきていると推測される。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・前年と同様、9月よりも悪い状態で今年が終わった。20日すぎから少し動いたものの、来客が集中した金曜日以外の日は閑散としていた。 ・建設関係の客からは「ボーナスが全く出なかった」、「少しでもボーナスが出て良かった」など厳しい話が聞かれた。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・3か月前との比較では、レストランの通常営業の利用客数が伸びているため増収の見込みである。前年同月比ではレストランウエディングの受注件数が大きく伸びているが、ディナーショーのチケットの販売不振により減収となる見込みである。	
	旅行代理店(従業員)	単価の動き	・年末年始の海外旅行客はSARSの影響もなく、例年と同じ状況である。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・金、土曜日以外は客数が少ない。忘年会の盛り上がりもそれほどでなかった。	
	美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数は前年と比較して落ちこんでいる。美容材料のメーカーの話でも出荷量が前年比10%減少しているという。サロンの現場でも10%程度の減少が平均的なところでないかと思う。	
	設計事務所(職員)	販売量の動き	・主にリニューアルの案件が集中しており、慌ただししい思いをしている割には受注量が伸びず、今年1年間を象徴する月であった。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・夏すぎから順調な販売成績が続いている。来春の着工物件が前年、前々年に比べて多い。内容的にはリフォームが多いと推測していたが、実際は80%以上が新築である。	
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・本人との交渉で建築をほぼ決定していても、親等の反対で長期延長のケースがいくつもみられる。客の態度はなかなか慎重である。	
やや悪く なっている	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・ようやく冬物が動く気温になってきたが、客の気持ちはすでにセール待ちの状態で、「今欲しいけど、もう少し待つ」という返答が来る。	
	スーパー(店長)	お客様の様子	・オーバーストア状態の地域の中で、多くの客はできるだけ有利な買物を求めて買い回っている。	
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・冬物商品も単価が低下しているため、売上が伸びず、前年を下回っている。来客数は前年とほぼ同じである。 ・100円ショップは好調である。	
	スーパー(営業担当)	単価の動き	・クリスマスケーキ、正月飾り、鏡もちなどは単価の安い商品ヘシフトしている。	
	その他専門店 [医薬品](営業担当)	販売量の動き	・既存店の売上は前月まで前年比100%をキープしていたが、今月は同4%減少している。これは明らかに買い控えか、暖冬による影響とみられる。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・団体、グループ客の動きは前年同月と比較して2けた以上減少している。	
悪く なっている				
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・関東地区は多少浮上し、関西地区は好調に推移している。北米は良くないが、欧州、特にイタリア、ドイツ、イギリスが好調に推移しつつある。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の板金機械メーカーの操業度がかなり高くなっている。
		司法書士	取引先の様子	・商業登記分野では、従来は会社の解散等が多かったが、最近は会社の設立や営業目的の追加など、積極的な情報が多くなった。
	変わらない	食料品製造業 (企画担当)	受注量や販売量の動き	・ここ数か月間は定番品の動きが悪く、前年割れとなっている。これは業界全体でも同様と聞いている。 ・年末の特殊商材はある程度動いているため、一部ではあるが回復の兆しも感じられる。
	化学工業(営業担当)	競争相手の様子	・競争相手の価格見積りが採算度外視としか言いようのない低価格となるケースが多くなってきた。	

		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・電子部品分野は一進一退である。ただし、新商品、特にヒット商品は納期が短く、数量的にもある程度流れている。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・例年12月は下請工事をする事が多いが、当初の予想に反して今年はほぼ例年並みの依頼があり、土曜日も返上して工期に間に合わせた。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・荷量はそこそこ出ているが、価格はまだ良くない。価格がもう少し上がらないと景気が良くなったとは言えない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ブロードバンド回線の需要が好調に推移している。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先からの話では、特にエンドユーザーの消費動向が変わっていない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	取引先の様子	・年末のため受注量が多いが、例年とは同じである。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・見積依頼物件は北陸では減少している。大都市では依然として引き合いは多いものの全般的に価格面が改善されず、採算面から受注困難なケースが多い。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・電子機械の製造・加工の請負求人がやや多くなっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数の増加傾向が続いている。求職者数は大幅に減少しているため、有効求人倍率も改善している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・年末賞与を受け取った後に退職する正社員を補充するための求人ニーズは、例年に比べて減少している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の出稿状況は前年とほぼ同様である。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パート求人がかなり増えている。求職者は当初常用社員を望んでいるものの、やむなくパートに切り替えるケースが多い。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人依頼は7～9月のピーク時を境にして秋口からやや減少気味である。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	